

平成27年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	ビジネスアカウンティング		担当教員	中野 廣幸 (非常勤)		
学年学科	専攻科 第一学年	開講時間数	後期2時間	選択	単位数	2単位
学習・教育目標	(B-1) 50%、(D-5) 50%		JABEE 基準1 (1): (e)(50%)(h)(50%)			
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 技術者が企業経営に参画するに当たり、技術的解決手法のみでなく企業を継続的に発展させるために企業活動の実態を計数把握する管理会計手法を身に付ける必要がある。 計数管理業務にスムーズに入っていくため、会計用語の意味と背景を理解し、的確に経営課題を設定し、企画立案から実施に亘る計数管理実務能力を慣れ親しんだ工学的モデルを用い、 <b>B/S、P/L、C/F、限界利益</b> を中心に身に付ける。 具体的には以下の能力を持った人材の育成を目標とする。			<b>成績評価の方法：</b> 中間考査100点+期末試験100点+課題レポート評価50点による総得点率 (%) によって成績評価を行う。			
① 複式簿記の歴史と管理会計の仕掛けを理解している。 ② 簿記と計数管理(経理)の役割・仕事を把握している。 ③ 簿記の仕事(B/S、P/L、C/F)及び決算書作成の概要を把握している。 ④ 財務会計(B/S、P/L、C/F)と管理会計の相違点を理解し会計数値の実務への適用方法の概要を把握する。 ⑤ 原価管理及原価計算の概要を把握している。 ⑥ 企業経営監視モニターとしての限界利益を使い込める。 ⑦ 会社四季報が読み、就活・経営分析に応用できる。			<b>達成度評価の基準：</b> 各回に教室外学習として与えた課題に関するレポート及び総合課題レポートとして提出する。また、中間考査・期末試験について授業内容の掌握状況を確認する。これらにより、その6割以上を正答の、または、課題レポート完成のレベルに達していること。成績評価への重みづけは均等である。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 企業の経営実態を改善するためには、知識だけではなく課題を確実に設定・実行できる知恵と工夫が重要となる。分かり易く解説し通常課題の切り口を提供するので、確実に実行し知恵にすることを期待する。講義の時間配分は次の通り。①課題(宿題)の提出と発表+補足説明(復習) 約20分 ②解説・実践・演習 約50分 ③課題(宿題)の提示とその解説 約20分						
<b>教科書および参考書：</b> 講師の作成した「プリント」を使用する。 参考書 稲盛和夫の実学(稲盛和夫著 日経ビジネス文庫) 原価計算 いちばん最初に読む本(久保豊子著 アニモ出版) 知らない恥をかかす 会社の数字 超入門(リベラル社NEWビジネス書シリーズ)						
授業の概要と予定：後期			教室外学習		ALのレベル	
第1回：家計簿と違う複式簿記の歴史と計数管理の工学的モデル及び簿記色々(商業簿記・銀行簿記・工業簿記・農業簿記)			家計簿と違う複式簿記の歴史と計数管理の工学的モデル及び簿記色々に関する課題レポートの作成			
第2回：簿記と計数管理(経理)の役割及び仕事の内容			簿記と計数管理(経理)の役割及び仕事の内容に関する課題レポートの作成			
第3回：簿記実務の流れと処理(仕訳と転記)			簿記実務の流れと処理(仕訳と転記)に関する課題レポートの作成			
第4回：簿記実務の流れと処理(損益計算書：P/L)			簿記実務の流れと処理(損益計算書：P/L)に関する課題レポートの作成			
第5回：簿記実務の流れと処理(貸借対照表：B/S)			簿記実務の流れと処理(貸借対照表：B/S)に関する課題レポートの作成			
第6回：経理実務の流れと処理(財務会計・管理会計)			経理実務の流れと処理(財務会計・管理会計)に関する課題レポートの作成			
第7回：経理実務の流れと処理(キャッシュフロー：C/F)			経理実務の流れと処理(キャッシュフロー：C/F)に関する課題レポートの作成			
第8回：会計の基礎まとめ(中間考査)						
第9回：中間フォローアップ 工業簿記(製造原価報告書)			工業簿記(製造原価報告書)に関する課題レポートの作成		B	
第10回：原価管理実務の流れと処理(原価計算)			原価管理実務の流れと処理(原価計算)に関する課題レポートの作成			
第11回：原価管理実務の流れと処理(採算性・限界利益)			原価管理実務の流れと処理(採算性・限界利益)に関する課題レポートの作成			
第12回：売上げ原価と業態(製造販売事例)			売上げ原価と業態(製造販売事例)に関する課題レポートの作成			
第13回：原価低減(コスト意識・コストダウンツール)			原価低減(コスト意識・コストダウンツール)に関する課題レポートの作成			
第14回：生産性と計数(減価償却・PER・PBR)			生産性と計数(減価償却・PER・PBR)に関する課題レポートの作成			
第15回：会社四季報等の見方(会計実務のまとめ)			会社四季報等の見方(経営分析等)に関する課題レポートの作成			
<b>期末試験</b>						
第16回：フォローアップ(期末試験の解答の解説など)					B	

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	商業思想を的確に絵に描き課題説明・演習 (8割以上) ができる。	商業思想を絵に描き課題説明・演習 (6割以上) ができる。	商業思想の概要・課題説明できない。
②	企業活動を計数的に捉え的確に絵に描き課題説明・演習 (8割以上) ができる。	企業活動を計数的に捉え絵に描き課題説明・演習 (6割以上) ができる。	企業活動の概要・計数的捉え方の課題説明ができない。
③	財務諸表 (B/S、P/L、C/F) の問題内容を絵に描いて評価できるよう課題を整理し説明・演習 (8割以上) ができる。	財務諸表 (B/S、P/L、C/F) の問題内容を絵に描いてポイントを示し課題説明・演習 (6割以上) ができる。	財務諸表 (B/S、P/L、C/F) の問題内容の指摘・課題説明ができない。
④	原価計算のブロック図が描き原価管理課題のポイントが説明・演習 (8割以上) ができる。	原価計算のブロック図が描き原価管理課題の説明・演習 (6割以上) ができる。	原価計算のブロック図が描き原価管理の概要が説明できない。
⑤	経営監視モニター限界利益を使い業務改善切り口の見える化課題・演習 (8割以上) ができる。	経営監視モニター限界利益を使い業務改善切り口の見える化課題・演習 (6割以上) ができる。	経営監視モニター限界利益を使い業務改善の切り口をつかめない。
⑥	会社四季報を使い、企業分析を行い改善課題を設定し説明・演習 (8割以上) ができる。	会社四季報を使い、企業分析を行い改善課題を設定し説明・演習 (6割以上) ができる。	会社四季報を使い、企業分析と問題点を挙げるができない。